

1. 件名

テック系スタートアップの海外展開に資する国際的エコシステムの動向把握
及び GSE 等を活用したその効果的な手法の検討に係る調査

2. 目的

ディープテックへの投資が世界的にも増加しているが、エコシステムの海外との繋がりが乏しく海外資金調達や多国籍企業との取引が得られないことが、日本のスタートアップの成長の一つの阻害要因となっている。他のスタートアップ後発国の事例では、自国のスタートアップの PR と海外投資家や起業家の誘致を目的として国際的なスタートアップイベントを民間も巻き込みながら継続的に実施し、ハブ化に成功。グローバル化を推し進めるには、こうした国際的なスタートアップを国が主催することで世界的に有力な関係者を惹き付け、国内のエコシステム関係者のグローバルでの接点を拡大させることが必要である。

社会課題の解決に資するディープテックスタートアップは日本、特に大学が多く集まる関西については世界から見ても有数なディープテックスタートアップを輩出している。2025 年には関西地域で大阪・関西万博が開催され、国内外からの投資家・起業家からの注目が集まる機会となる。この機会を最大限に活かし、ディープテックスタートアップをはじめとする社会課題解決に資するスタートアップを関西・日本から発信するナショナルイベント「Global Startup EXPO 2025」(以下、GSE)を実施する。イベントテーマは「Shaping the Future with Startups - Co-creation to Break Through Global Challenges -」。

ディープテックスタートアップを中心に世界規模で挑戦すべき課題を協創の力で突破するためのイベントとして、未来創造、課題共有と解決、チャレンジする仲間づくりを体現する。具体的には社会課題解決に関心の高い世界的な VC、機関投資家を招へいし、世界のスタートアップを交えたセッション、ピッチイベント、企画展示等を実施し、日本、関西のスタートアップの技術・サービスを世界に発信する。

本事業では、国内スタートアップが海外展開を目指すにあたって、海外におけるスタートアップエコシステム拠点の動向(支援重点分野、分野ごとの市場特性等)について、参考となる各国市場に関する情報やビジネス環境の調査研究を行う。加えて、スタートアップのグローバル化、エコシステムのグローバル化につながる効果的な情報発信、有益なネットワークの構築など、国内外の有望なスタートアップが集い、世界から注目されるハブイベントとなる展示を GSE で実証することで、今後のスタートアップのグローバル化を推進する効果的な手法を検討する。

3. 実施内容

(1) 海外展開に資する国際的エコシステムの動向調査

主要な国・地域へスタートアップが進出する際に参考となる情報を収集・整理する手法を提案すること。

- ・対象国：ドイツ、インド、フランス、イギリス、シンガポール、台湾、中国、サウジ、UAE 等、9 か国以内を想定
 - ・調査項目：対象国ごとに下記必須項目としてまとめることを想定。
 - ① スタートアップを取り巻く政治状況・マクロ経済状況(人口、経済、政策等)
 - ② スタートアップエコシステムの現状と特徴(投資、分野、規制緩和、VC の活動等)
 - ③ 政府による主な支援策(主要機関、支援施策、重点分野等)
 - ④ 現地での日系企業動向(進出スタートアップ、日系ファウンダー、日系 VC の活動等)
 - ・手法：デスクトップ調査を基本とし、必要に応じて現地関係や企業等へのヒアリングを行うこと。
- ※調査実施に当たっては、NEDO と協議・了解の上で実施すること。

(2) GSEでの展示ブース関連業務

① 展示ブースの企画調整

- ・本事業は、経済産業省、近畿経済産業局、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の4者合同（以下、主催者）で開催する。
- ・NEDOは展示ブース関連業務のみ担当し、展示ブース以外の運営業務は別途ジェトロにて選定される受託者（以下、関係者）ともGSE全体運営にあたり緊密に連携し、十分に調整して進めること。
- ・実施期間中、主催者及び関係者等との定例会を週1回程度、オンライン等で開催し、進捗状況の報告、各種相談を行うこと。

GSE開催概要案は下記のとおり。

名称：Global Startup EXPO 2025（GSE）

日程：2025年9月17日、9月18日（設営16日・撤収19日）

場所：EXPOメッセ（WASSE）【2,000㎡×2区画＝4,000㎡】

主催：Global Startup EXPO（GSE）2025実行委員会

（経済産業省、近畿経済産業局、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）、
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO））

出展：150～200社程度（うち4割海外スタートアップを想定）

海外招聘者：50名から100名程度程度

来場目標：4000人程度（ディープテックに関わるスタートアップ、VCが主対象）

使用言語：原則、英語

イベントテーマ・ロゴ：

Shaping the Future with Startups -Co creation to Break Through Global Challenges -



GSE会場レイアウト構成：

(ア) ステージ

- ・メインステージ（収容人数300名程度）を1か所設置
- ・サブステージ（収容人数約100名程度）を2か所設置

(イ) 展示ブース

- ・スタートアップ企業等の出展者150社から200社程度

(ウ) デモスペース・先端技術の展示エリア

- ・出展者の成果物であって大型の展示物等を展示するブース

(エ) 商談エリア

- ・登壇者や要人との面談や打ち合わせ等が可能な個室

(オ) 登壇者・VIPスペース

- ・海外投資家、要アテンドの起業家・経営者などの財界著名人等を想定したスペース

(カ) エントランスモニュメント

(キ) 休憩スペース

- ・来場者向けの休憩スペース。

(ク) 受付

(ケ) 事務局スタッフ控え室

- ・主催者や事務局スタッフの作業・休憩場所
-

② 展示ブースデザインの作成

- ・本イベントのコンセプトやストーリーを表現したブースデザイン案を提案すること。
- ・日本、関西ならではの個性を発揮した装飾とし、会場全体で統一感を持たせること。
- ・グローバルイベントにふさわしいクオリティを確保すること。
- ・必要に応じて分野を分けてゾーニングするなど工夫した提案とすること。
- ・ブースの種類については、過去類似イベント等に鑑みて検討すること。
- ・海外類似イベントも参考とし、魅力的かつ実用的な明るい色を基調としたデザインとすること。
- ・ブースサイズは、1ブースあたり、2,000mm×2,000mm程度を想定すること。ただし、関係者等と会場全体のレイアウトを調整した結果、ブースサイズの変更が必要な場合は柔軟に対応すること。
- ・会場全体、各会場構成要素のデザインを関係者と調整し、主催者と協議の上、決定すること。

③ 展示ブースの出展者募集・選定・調整業務

- ・展示ブースへ出展するスタートアップの募集、選定及び選定後の連絡対応を行うこと。
- ・会期までの計画及びタスク管理表を作成すること。
- ・出展者のうち、国内：海外=6：4の割合を目標とする。
- ・出展者は国内外から幅広く参加者を募り、選定すること。
- ・必要に応じて分野を分けるなど工夫した提案とすること。
- ・出展者募集要項や様式等を作成し、WEBでの募集を行うこと。
- ・審査員、審査基準等については、主催者と協議の上、案を作成し決定すること。
- ・審査委員との調整、審査会の開催を行い、採択出展者への通知を行うこと。
- ・本イベントの出展者候補となるスタートアップ推薦リストを作成すること。
- ・スタートアップリストに基づき優先度を主催者等と協議した上で、出展依頼の声掛けを行うこと。
- ・基本的に英語での展示となることに留意すること。
- ・出展辞退者が出る可能性も念頭に、ブース枠をうまく活用できるよう予め対応検討すること。
- ・出展者の中から、デモブースに展示する出展者を検討すること。
- ・出展者マニュアルを作成し、説明会を実施すること。（日・英）
- ・出展者からの問い合わせに対応すること。
- ・海外スタートアップとの調整・問合せ対応が出来るよう、ビジネス英語以上の能力を持つ人を配置すること。
- ・一般来場者にもわかりやすい展示となるよう、適切な者を選定したうえで展示内容について相談に対応すること。

④ 展示ブースの設営・撤収

- (ア) 展示ブースの設営及び撤去の計画及びスケジュールを作成し関係者と調整の上、主催者等の了解を得ること。なお、以下に留意すること。
- ・決定した展示ブースレイアウトに基づく必要什器、備品及び消耗品の調達を行うこと。
 - ・必要に応じ、展示ブースの電気、電話及び給排水設備の設置検討やこれに付帯するその他の工事についての調整・対応を行うこと。
 - ・安全を担保した内容で計画すること。
 - ・必要に応じ、警備会社も含めて打ち合わせを行い、円滑な搬入出が行えるよう努めること。

- (イ) 決定した展示ブースレイアウトに基づき、必要な展示物・装飾物を製作・設置すること。
- (ウ) 現地展示ブースの施工・撤収すること。
 - ・会場使用に伴う安全確保義務を順守すること。
 - ・業務に必要な人員を確保し、十分な業務体制を整えること。
 - ・資機材や人員の数量に変更が生じた場合には、主催者等と協議の上、対応すること。

⑤ 展示ブースの当日運営対応

展示物の設置・運営等に係る以下の業務を実施すること。

- ・主催者、関係者及び会場管理事業者等との連絡調整業務
- ・会場内での出展者等からの問い合わせ対応等

⑥ その他

- ・ユニバーサル対応を図ること。
- ・スタッフ等の怪我、事故、疾病等に備え 保険等の加入を検討すること。
- ・本業務の実施に伴い生じたトラブル等に関しては受託者が責任をもって対応すること。
- ・会場の管理事業者等が定めるガイドライン等を順守すること。

4. 調査期間

NEDOが指定する日（2024年度）から2025年12月26日までの2年間

5. 報告書

2025年度終了後には調査報告書を所定の期日までに提出すること。

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

7. その他

- (1) 作成物、成果物の著作権、所有権等は主催者に帰属する。
- (2) 本仕様書にない事項又は仕様について生じた疑義については、主催者と協議して解決するものとする。

8. 支払い条件

本委託事業の検収後、一括払いとする。ただし、必要に応じて概算払いを行う。また必要に応じて、中間検査等を行うことがある。

9. 予算額

200,000 千円未満